

	牛糞		豚糞		採卵	街路樹剪定枝・間伐材(備考①参照)	生ゴミ		
	搾乳牛	肥育牛	敷料なし	敷料あり			ブローラー(平飼い)	動物性	植物性
原料水分量	80～90%	75～85%	90～100%	70～85%	75～90%		50～60%		
原料への鋸くず・木材チップ(微細5mm以下)投入量	水分調整材(鋸くず・木材チップ)等の原料1m ³ あたり投入量(※備考②参照)						ミラクル酵素を3～5日ごとに散布します	ミラクル酵素を生ゴミを入れるたびに上からふりかけます	
	2.0m ³	1.5m ³	2.0～2.5m ³	1.5～2.0m ³	1.5～2.0m ³				
好気性発酵の標準水分量	原料の畜糞に水分調整材を加え、水分を50～65%にします。(※備考③参照)。								
ミラクル酵素の投入量	鋸くず・木材チップとあわせた原料1m ³ にたいしミラクル酵素1kgを混ぜ合わせます。(図参照)						一坪当り50～100g	原料1kg当り15g	原料1kg当り10g
1回目の切返し	<ul style="list-style-type: none"> ●堆積した堆肥の表面から深さ30cmの温度が60度を超えるとき。 ●通常はミラクル酵素を混ぜ合わせて1～3日経過したとき。(※備考④参照) 								
2回目以降の切返し	<ul style="list-style-type: none"> ●1回目の切返し後、内部の温度が60度を超えたときに2回目の切返しをします。 ●その後、約1週間ごとに随時切返しを行います。(※備考⑤参照) ●切返しのポイントとして、堆肥表面部分と中心部分を入れ替えるようにします。 ●堆肥中にある雑草の種子は、堆肥発酵温度が60度以上で3日以上続くと発芽なくなります。 ●水分過多の場合は2～3回目の切返しを10～15日目とします。 								
ミラクル酵素投入から完熟までの期間	<ul style="list-style-type: none"> ●45～90日間。(※備考⑥参照) ●季節により完熟までの期間は多少異なります。 ●熟成後半は堆肥舎内を暗くすると熟成が促進されます。 								
完熟堆肥の作物への使用量	<ul style="list-style-type: none"> ●10aあたり1～2トンを使用し、作物に応じて基肥・追肥を加減してください。 ●堆肥を表面に散布(マルチ方式)すると、水分の調整および生育促進に効果大です。 								
備考	<p>①発酵促進のために、街路樹剪定枝・間伐材のチップ化した原料1m³に、化成肥料の場合は、尿素500g、硫酸1kgのいずれかを投入し、有機質の場合は乾燥鶏糞2.0～2.5kg・魚粕粉末1.0～1.5kgのいずれかを投入してください。</p> <p>②鋸くず・木材チップの水分量の状態で投入量を加減してください。</p> <p>③目安としては素手で握り、湿り気を感じ、かつ水分がしみ出ない程度が良好です。</p> <p>④ミラクル酵素を混ぜ合わせてから1～3日で温度が60度に達しない場合は水分過多などが原因です。</p> <p>⑤発酵温度が80度を超えないように適宜切返しを行ってください。</p> <p>⑥堆肥の出来上がりの良否は、堆肥少量をフライパンなどで熱して判断します。良い香りがすれば大丈夫ですが、悪臭の場合は未熟です。圃場へ施用する際はEC(電気伝導度)を5以下にすると濃度障害の心配がなくなります。</p> <p>⑦畜舎内の糞尿が落下する付近に1坪(3.3m²)あたり100gを散布すると舎内の悪臭防止と堆肥の発酵促進ならびに尿溜めの液肥発酵にもなります。</p>								